

1 研究の概要

(1) 研究テーマ

佐賀県小・中学校学習状況調査から見える

課題の解決に向けた中学校社会科の授業改善

(2) テーマ設定の趣旨

平成 26 年度佐賀県小・中学校学習状況調査(中学校社会科)では、「資料活用の技能」は、「おおむね達成」の基準を上回っているものの、「社会的な思考力・判断力・表現力」に課題が見られました。また、「社会的事象についての知識・理解」についても課題が見られ、社会的な思考力・判断力・表現力を育成するとともに、基礎的・基本的な知識や概念を身に付けさせ、学習内容の理解や認識の深まりを図る指導が必要です。

中学校社会科において課題が見られる「社会的な思考力・判断力・表現力」を育成するために、中学校学習指導要領解説社会編は、言語活動に関わる学習を充実させ、社会的な見方や考え方を養うように述べています。「社会的事象についての知識・理解」については、中央教育審議会の答申でも、社会科において、基礎的・基本的な知識、概念が十分に身に付いていない状況が指摘されています。中学校学習指導要領解説社会編では、適切な課題を設けて行う学習の充実を図ると述べられていますが、学習内容が高度になったり過多になったりしないように、指導内容の厳選に努めることや基本的な事項・事柄を精選して扱うことが必要であると述べています。

そこで、本研究では、単元において、学習指導要領で示された内容を再構成し、適切な課題を設けて行う学習の充実を図るため、「意思決定を取り入れた討論型の学習」を基にした単元づくりを提案します。これにより、生徒が多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現する能力と態度を育て、基礎的・基本的な知識、概念や技能を身に付けさせることができると考えています。

(3) 研究の目標

中学校社会科における思考力・判断力・表現力の育成と基礎的・基本的な知識や概念の定着を目指し、意思決定を取り入れた討論型の学習を基にした授業改善策を探る。

(4) 研究の方法と内容

- ・学習状況調査の結果を基に、中学校社会科の課題を洗い出す。
- ・「意思決定を取り入れた討論型の学習」を基にした単元づくりについて理論研究を行う。
- ・課題解決を図った授業改善について公開授業を実施し、より良い学習指導の在り方を探る。